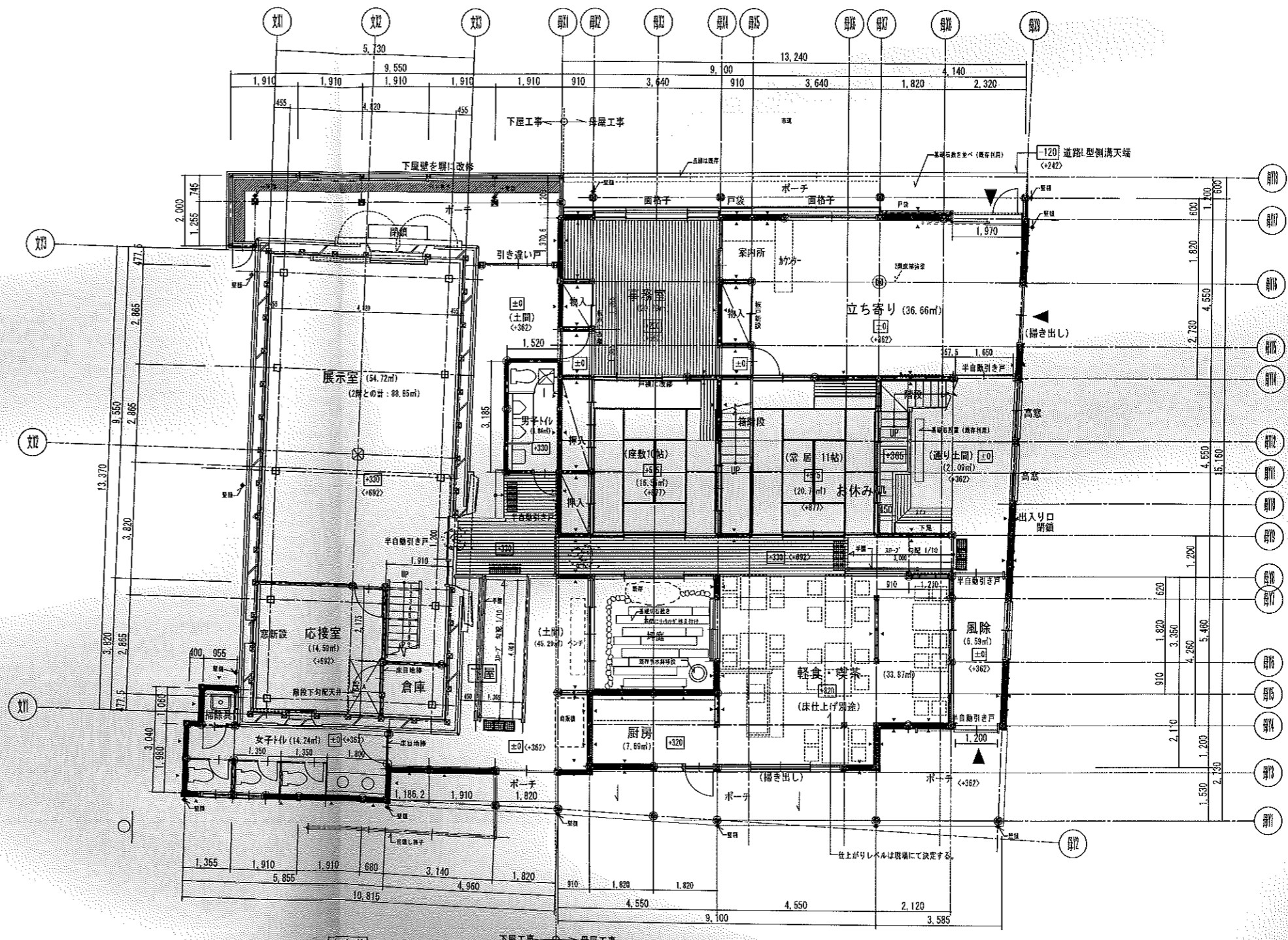


既存 1階 平面図 1/200

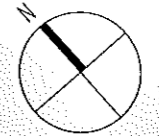
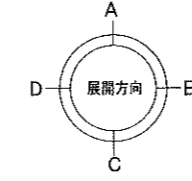
全て撤去とする

母屋	文庫蔵	下屋
<b>既存撤去工事</b> 基礎 1. 一部の既存基礎撤去(基礎、300x300mm)撤去 2. 基礎工事完了後(仮設)設置 3. 土留部分撤去(撤去) 床 1. 1階 - 床板、床下、基礎、土留撤去 2. 2階 - 床板、基礎、土留撤去 壁 1. 土壁(内、外)共に撤去、即座に下塗り、床の下の土留は撤去(内、外) 2. 撤去後、即座に下塗り、土留撤去(内、外) 3. 2階、即座に下塗り、土留撤去(内、外) 4. 1階、即座に下塗り、土留撤去(内、外) 天井 1. 全て撤去 屋根 1. 野地板撤去(撤去) その他 1. 瓦葺きの一部撤去、仮設、撤去、撤去 2. 屋根の石葺き	<b>既存撤去工事</b> 1. そのまま 内部 1. 1階 - 300x300mm撤去 2. 2階 - 床板撤去(一部内蔵のこと) 外部 1. 既存中塗りまで撤去 2. 窓枠部分土留撤去のこと(土留はそのまま、撤去のこと) 内部 1. 既存床板撤去 天井 1. 既存中塗りまで撤去	<b>既存撤去工事</b> 1. 両側基礎撤去(基礎の基礎、壁の柱、鉄筋は残すこと) 1. 表示部分300x300mm撤去(即座に撤去、撤去) 1. 内、外 両向きに撤去 2. 窓枠部分土留撤去のこと 1. 野地板、撤去(撤去、明り取り撤去)

※その他 仕上げは参照のこと ※内部部材撤去については既存図面を参照



1階平面図 1:100



- 凡例
- 新設の柱を示す
  - ▲ 耐力壁を示す
  - 注意喚起(鉄筋) (AF100)
  - 注意喚起(窓枠) (AF100)
  - 床点検口450角(貼り物用)
  - <数字> : は図からのレベルを示す
- ※ 屋根裏部屋は閉鎖とする

鉾屋町歴史的建造物等修築(建築主体)工事 その2

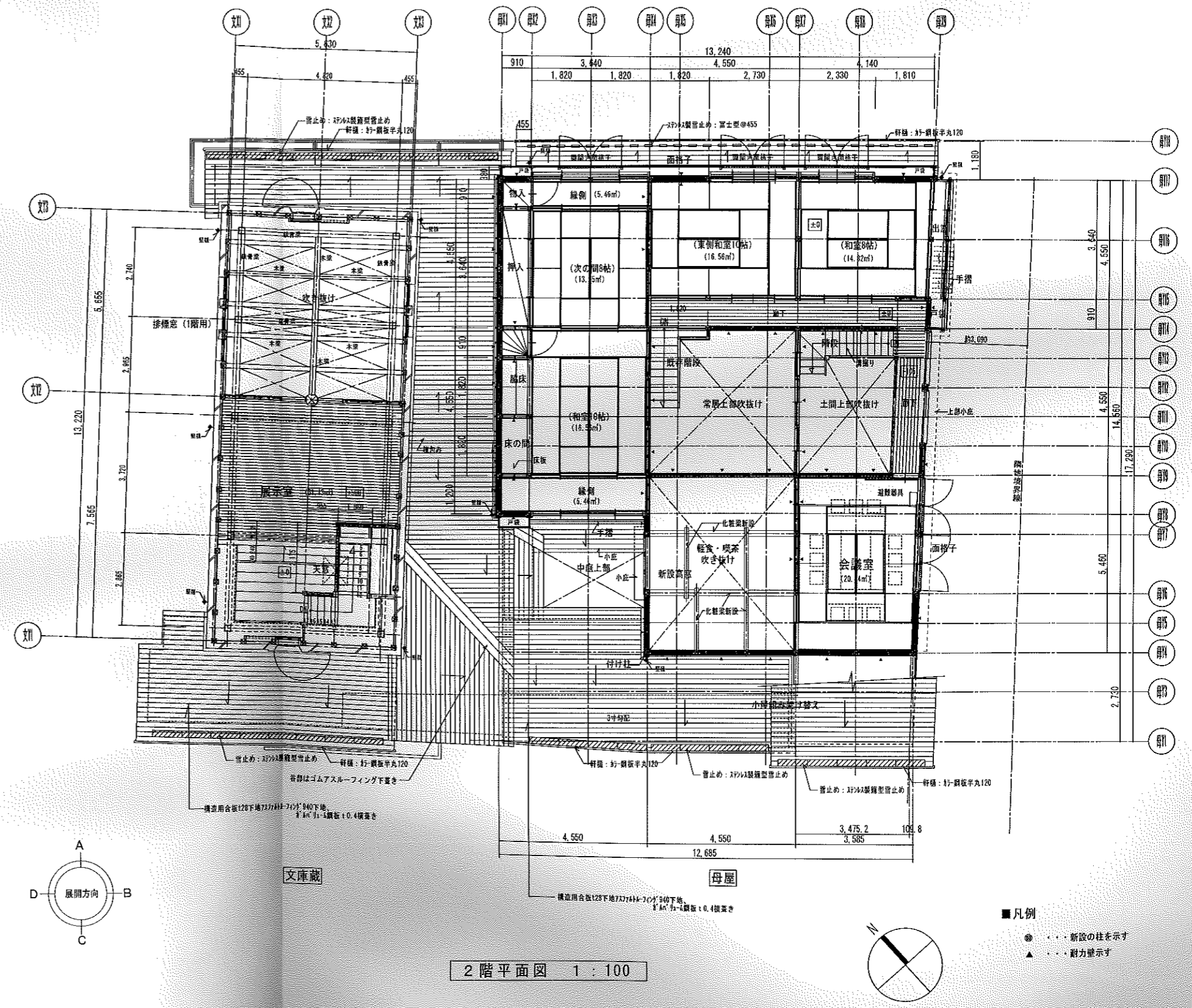
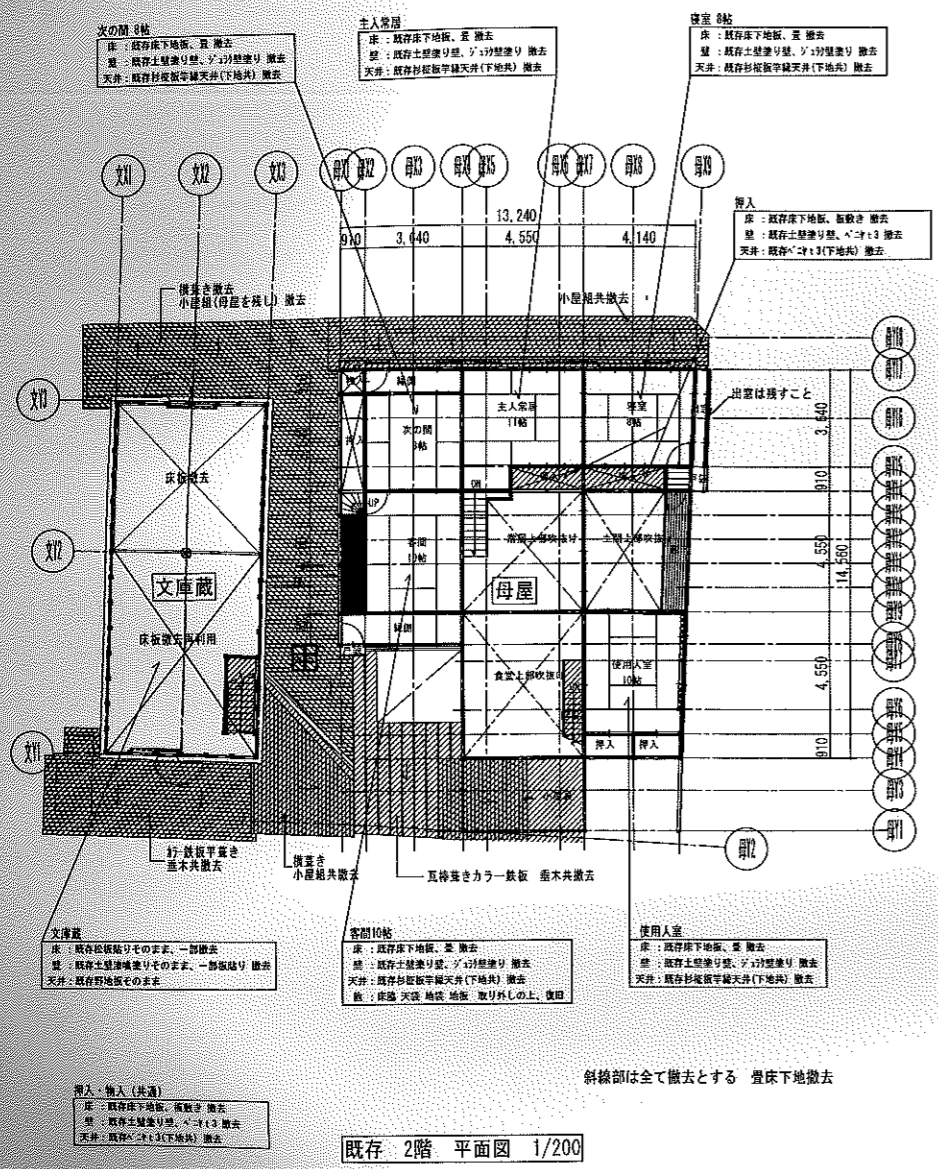


株式会社 三 衛 設 計 舎  
 SANKOH ARCHITECT ASSOCIATES  
 〒020 盛岡市 鉾屋町 4 番 2 8 号  
 TEL 019-623-3631 FAX 019-623-3441

1級建築士事務所 岩手県知事登録 第(お)-790号  
 1級建築士 建設大臣登録 第77107号 勝部民男

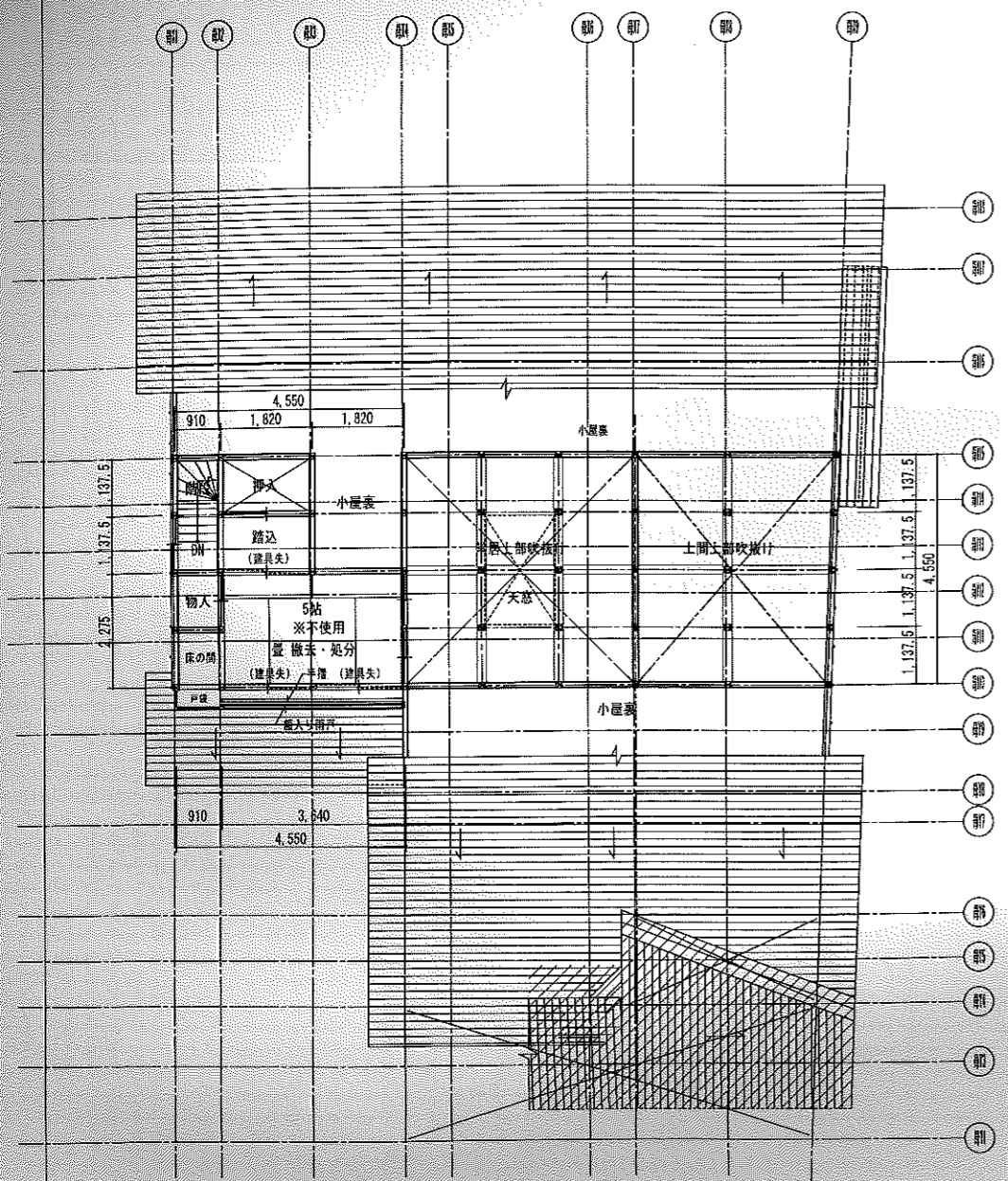
検 図	製 図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
	田 浦	24年 3月	母屋・文庫蔵棟 1階 平面図	1/100	A12
				枚の内	区分
				89	建築意匠





母屋	文庫蔵	下屋
<b>既存撤去工事</b> 基礎 1. 一部の既存基礎 花崗岩基礎、201-1甲を撤去 2. 基礎工事終了後（台無し）設置 3. 土留部分撤去後、復元撤去 床 1. 1階 一部木、瓦葺、瓦葺、畳 撤去 2. 2階 一部木、瓦葺、瓦葺、畳 撤去 壁 1. 土壁（内、外共に）撤去、和室化下がり壁、床の間の石壁はそのままとする 2. 土壁、和室化の壁は和室化すること（その他の出窓は変更、和室化し撤去のこと） 3. 1階 瓦葺、出窓1.2m取付のこと 天井 1. 全て撤去 階段 1. 野地板撤去（畳はそのまま、畳敷撤去） その他 1. 畳具の一部撤去、床 釘外、釘頭 撤去等 2. 中柱の石はそのままとする ※その他 仕上げ要領のこと ※内部修繕撤去については既存図面を参照	<b>既存撤去工事</b> 基礎 1. そのまま 床 1. 1階 201-1甲を撤去 2. 2階 床板撤去 一部取付のこと 壁 1. 既存中塗りまで撤去 2. 窓取付部分土壁撤去のこと（土留はそのまま、変更のこと） 天井 1. 既存中塗りまで撤去 軒天 1. 既存中塗りまで撤去	<b>既存撤去工事</b> 基礎 1. 両側布基礎撤去（道路側の基礎、壁の柱、基礎は残すこと） 床 1. 撤去部分201-1甲を撤去（御影石瓦葺、夜露共） 壁 1. 内、外共に 撤去して再建 2. 道路側 壁の残部は撤去すること 天井 1. 野地板、畳木撤去（畳敷撤去、釘取り撤去）





斜線部分：既存母屋大屋根勾配、屋根面より出ている部分の桁及び梁の上部分を撤去し既存屋根勾配なりに小屋組みをつくること。

既存屋根伏図 3階平面図 1:100

○ 母屋 屋根仕上げ

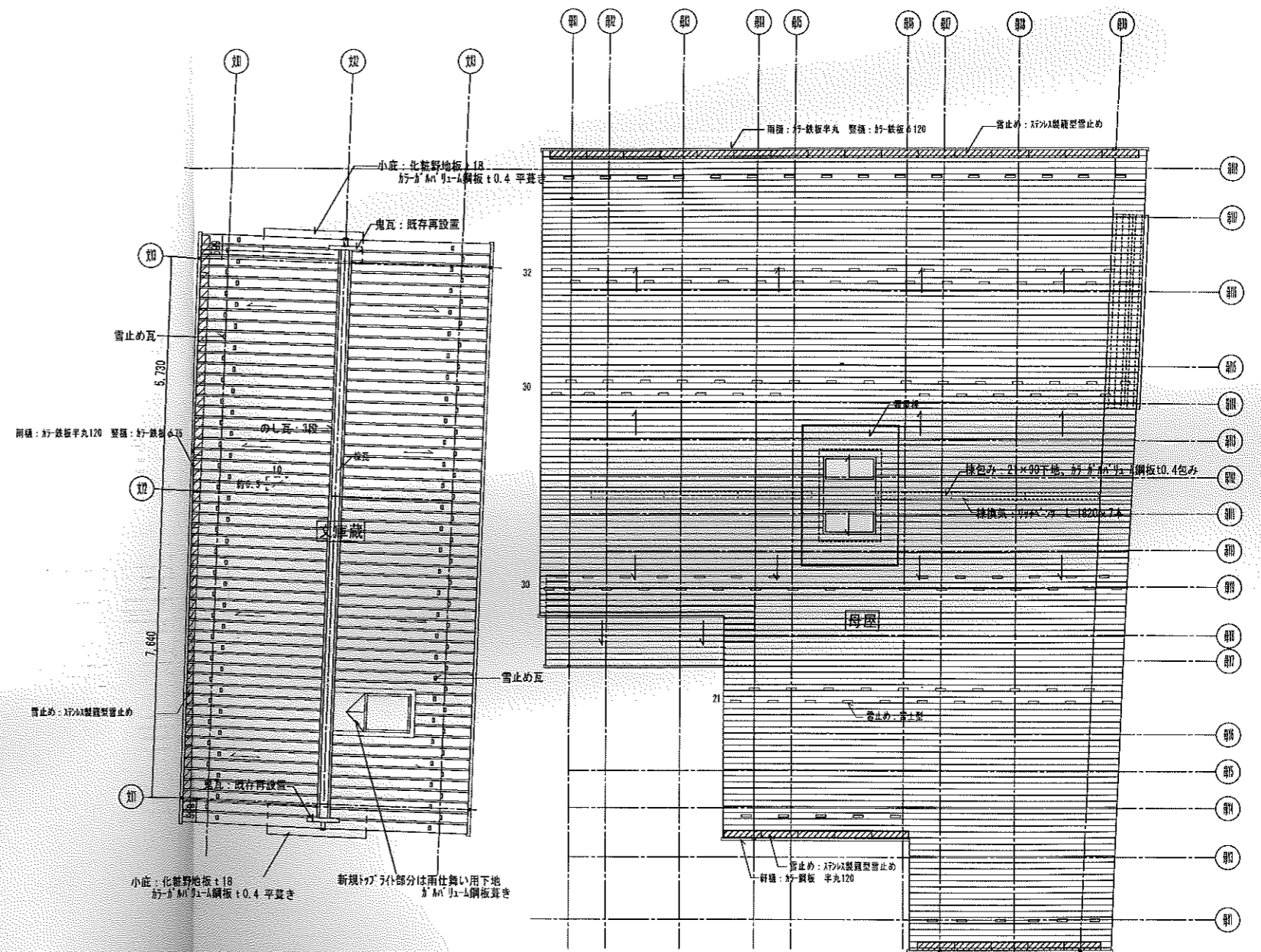
野地板：18下地、 $\phi 75$ 鉄板横葺き  
 破風：木下地カラー鉄板包み  
 雨樋： $\phi 75$ 鉄板半丸 堅樋： $\phi 75$ 鉄板  
 雪止め：富士型

○ 下屋 屋根仕上げ

野地板下地、 $\phi 75$ 鉄板横葺き  
 破風：木下地カラー鉄板包み  
 雨樋： $\phi 75$ 鉄板半丸 堅樋： $\phi 75$ 鉄板  
 雪止め：富士型

○ 文庫蔵 屋根仕上げ

屋根土の上、母屋150×150程度、垂木90×45程度  
 野地板下地、枕瓦葺き  
 鼻隠し：木下地カラー鉄板包み  
 雨樋： $\phi 75$ 鉄板半丸 堅樋： $\phi 75$ 鉄板  
 雪止め：富士型



○ 文庫蔵 屋根仕上げ

新野板455の上、野地板構造用合板12下地 $\phi 75$ 鉄板横葺き  
 下地：縦枕木 50×5 瓦枕15×24 枕瓦葺き (全数 $\phi 75$ 釘止め)  
 軒部：万十軒瓦、袖部：紐付き袖瓦 軒面戸：樹脂製  
 雪止め瓦 平島1列

改修 2.3階 屋根伏図 1:100

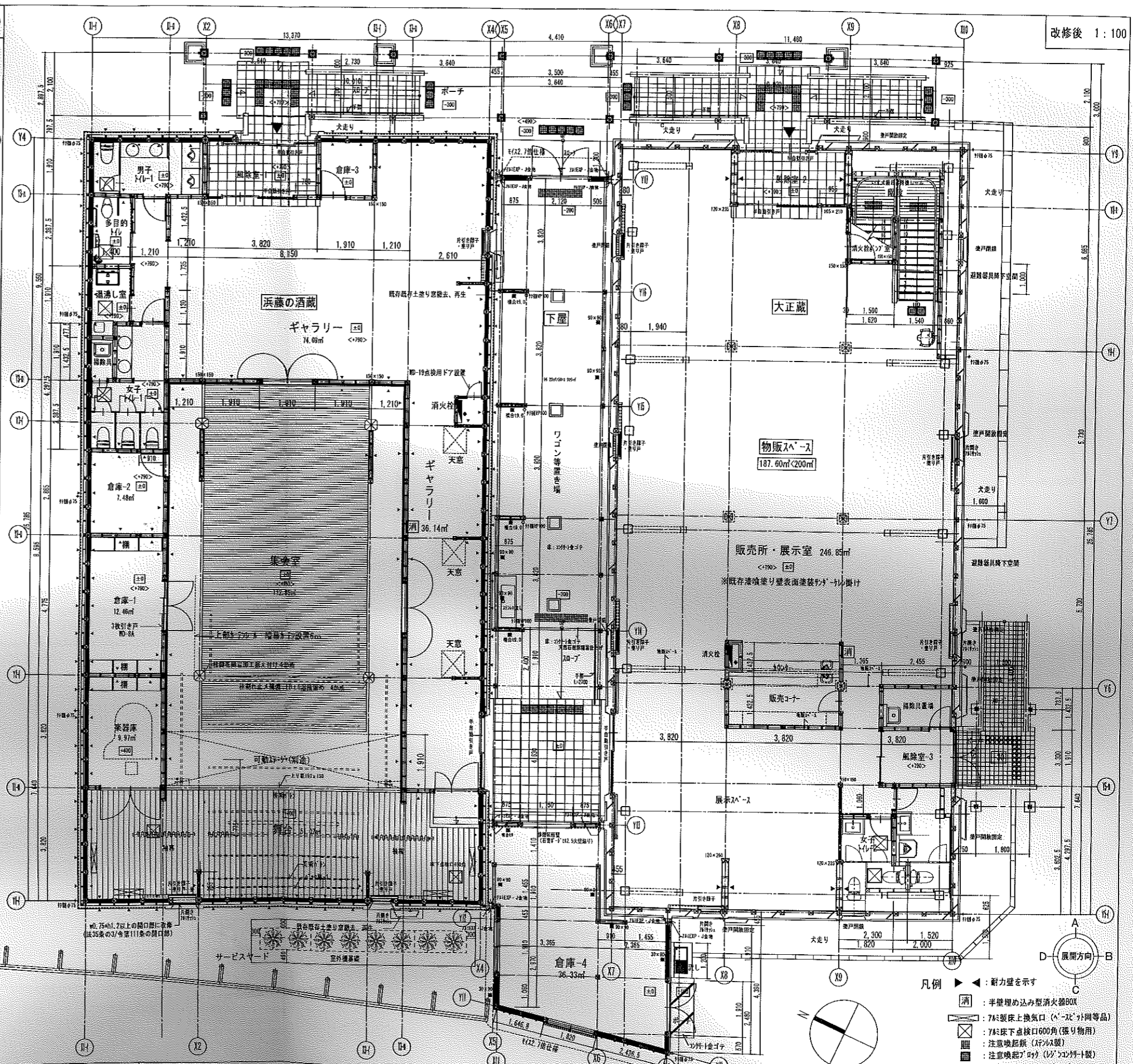
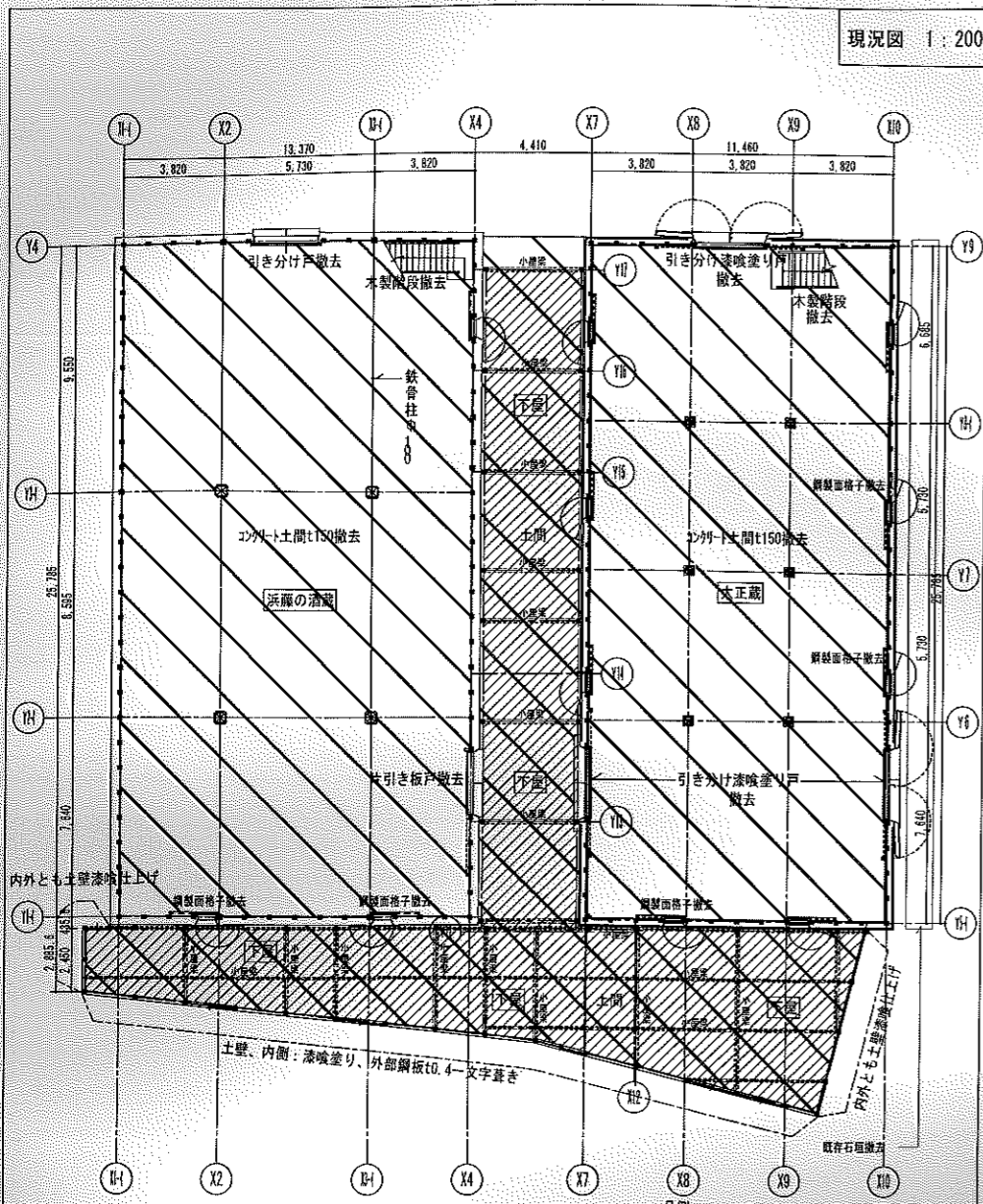
○ 母屋改修後 屋根仕上げ

横葺き鉄板撤去  
 既存野地板上、補助垂木45×65  
 垂木間に発泡ウレタン $\phi 40$ 敷き込み  
 野地板：構造用合板12下地 $\phi 75$ 鉄板横葺き  
 $\phi 75$ 鉄板横葺き  
 (現し軒天部分は既存野地板撤去、  
 新規に野地板 松18 自然保護塗装とする。)  
 破風・鼻隠し：松板12下地、 $\phi 75$ 鉄板横葺き0.4包み  
 雨押え：木下地、 $\phi 75$ 鉄板横葺き0.4包み



検 図	製 図	設計年月	図面内容	母屋・文庫蔵棟	縮 尺	89	図面番号	A14
	版 図	23年 3月	屋根伏図		1/100	枚の内		
						区分		建築意匠





■主要な解体・撤去項目

- 浜藤の酒蔵、大正蔵、下屋 共通事項
- 1) コンクリート土間解体撤去 (全面)
- 2) 木製階段撤去
- 3) 鋼製面格子撤去 (図中表記のもの)
- 4) 出入り口、引き分け漆喰塗り戸撤去
- 5) 屋根葺き材撤去 (桧瓦)
- 6) 基木撤去

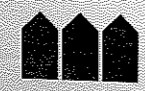
浜藤の酒蔵	大正蔵	下屋
1) 付屋撤去	1) 2階 板仕切り壁 撤去	一旦すべて解体、凡そ半分の修繕工事を行う
2) 屋根土撤去 (厚約250mm、全面)	2) 2階スチールシャッター撤去	
3) 土壁撤去 (厚約300mm、全面)	3) 2階床 板一部撤去	
4) 鉄骨柱φ100撤去 (1・2階共)		
5) 2階床板撤去		
6) 小座梁補強7φ撤去		
7) 2階スチール手摺、撤去		
8) 2階木製手摺、撤去		
9) 片引き板戸 撤去		

現況1階延べ床: 885.24㎡

凡例 ▶ ◀: 耐力壁を示す

- ◻: 半管理め込み型消火器BOX
- ◻: 7F: 暖床上換気口 (ベ-ス+付同等品)
- ◻: 7F: 床下点検口600角 (張り物用)
- ◻: 注意喚起扉 (X/F+1F)
- ◻: 注意喚起フロア (1/F+1F+1F)
- <数字>: は図からのレベルを示す

鉾屋町歴史的建造物等修築(建築主体)工事 その2



株式会社 三 衛 設 計 舎  
 SANKOH ARCHITECT ASSOCIATES  
 〒020 盛岡市 鉾屋町 4 番 2 8 号  
 TEL 019-623-3631 FAX 019-623-3441

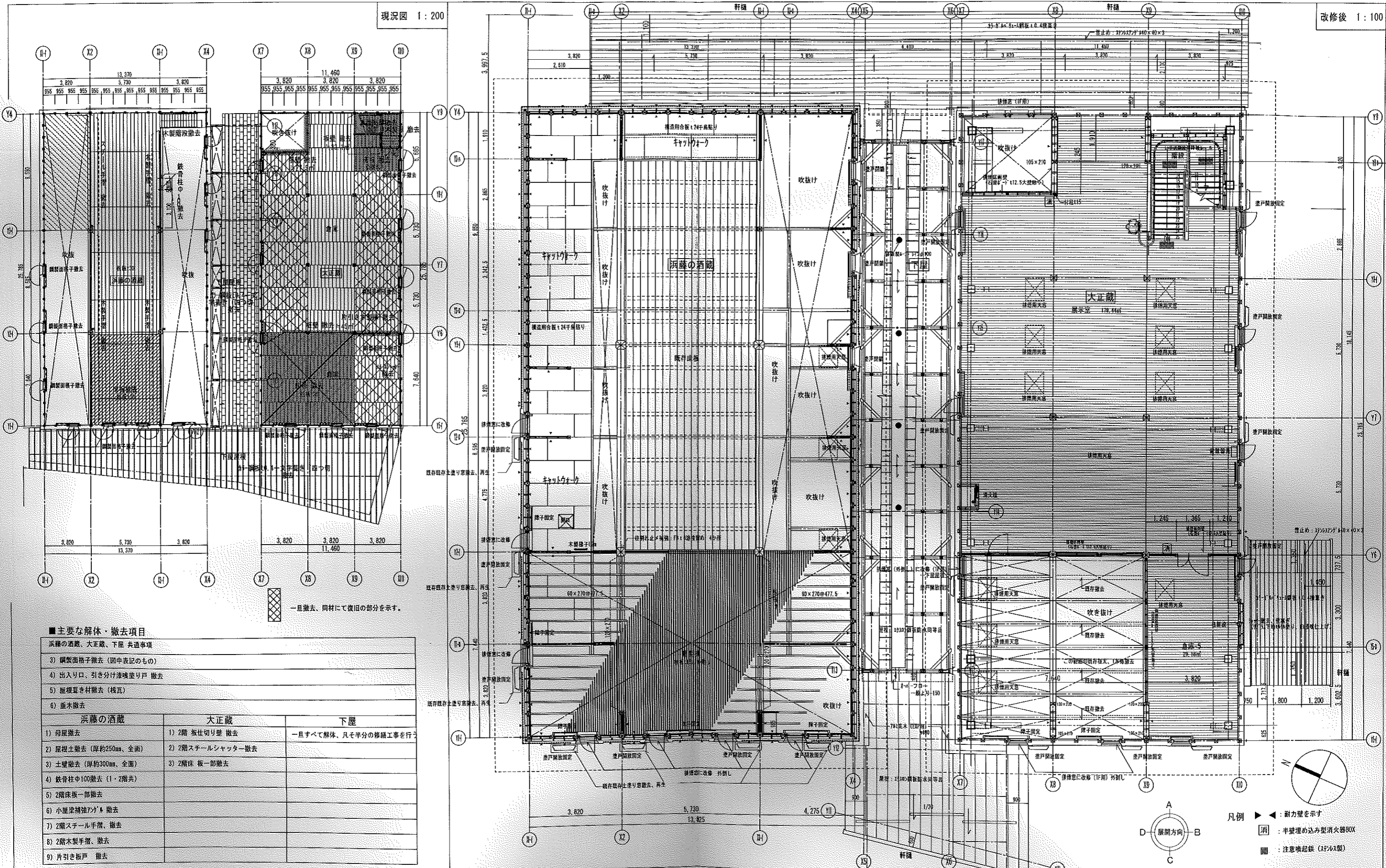
1級建築士事務所 岩手県知事登録 第(お)-790号  
 1級建築士 建設大臣登録 第77107号 勝部 民男

検 図 製 図 設計年月  
 小野寺 24年 3月

図面内容 浜藤の酒蔵・大正蔵棟  
 改修 1階 平面図

縮尺 1/100  
 設計変更 89 面 番号 A43  
 図内 89 枚の 区分  
 建築意匠





■主要な解体・撤去項目

浜藤の酒蔵、大正蔵、下屋 共通事項		
3) 鋼製面格子撤去 (図中表記のもの)		
4) 出入口、引き分け凍喰置り戸撤去		
5) 屋根葺き材撤去 (桧瓦)		
6) 垂木撤去		
浜藤の酒蔵	大正蔵	下屋
1) 母屋撤去	1) 2階 板仕切り壁撤去	一旦すべて解体、凡そ半分の修繕工事を行う
2) 屋根土撤去 (厚約250mm、全面)	2) 2階スチールシャッター撤去	
3) 土壁撤去 (厚約300mm、全面)	3) 2階床板一部撤去	
4) 鉄骨柱φ100撤去 (1・2階共)		
5) 2階床板一部撤去		
6) 小屋梁補強7分1撤去		
7) 2階スチール手摺、撤去		
8) 2階木製手摺、撤去		
9) 片引き板戸 撤去		

一旦撤去、同材にて復旧の部分を示す。

凡例 ▶ ◀ : 耐力壁を示す

◻ : 半壁埋め込み型消火器50K

◻ : 注意喚起鉄 (APLX型)

